

令和 6 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 2 8 日

江別市立江別第一中学校

1 本年度の重点目標

○本年度の学校経営重点目標
心をつなぐ ～挑戦を応援～

○学校経営の基本方針

□めざす生徒像
夢・目標に向かって挑戦し、自ら学び、仲間とともに成長する生徒

□めざす学校の姿
「なりたい自分」への挑戦を応援する学校

□めざす教師の姿
自信と責任を持ち、生徒と心通わす教師

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	①学校教育目標の実現に向けた、全教職員による学校運営	A	・学校長が示す重点目標が全教職員に浸透し、何事にも「挑戦」の姿勢が見られ、教育活動が充実、発展させることができた。	A	A
	②地域・保護者と連携し、信頼関係に基づく教育活動の推進	A	・CS や PTA と連携した防災教育に取り組み、成果が見られた。参加者を増やすことが課題である。 ・PTA 活動では、保護者アンケートにて昨年度より高評価をいただいた。	A	A
	③教職員の服務規律の徹底	A	・服務規律に関する研修等で自覚を促すとともに、職員同士のコミュニケーション力で自浄作用が働く職場づくりを今後進めていく	A	A

教育課程・学習指導	①知・徳・体のバランスのとれた教育課程の編成と年間計画に基づいた授業時数の確保	A	・生徒が主役の学校づくりを目指して教育課程の編成を進め、成果が見られた。今後も、様々な個性や特性を持つ生徒が共に取り組めるような教育課程を編成していく。	A	A
	②確かな学力が身につく授業づくりの実践	B	・全国学力・学習状況調査で昨年度より改善傾向が見られた。 ・研究部を中心に、全教員が生徒主体の授業づくりを目指しており、生徒の生き生きとする表情が多くみられる。 ・家庭学習時間が増えるような取組や授業での呼びかけが必要。	A	A
	③支援の必要な生徒の把握と、個に応じた指導方法の工夫	A	・校内特別支援委員会で生徒の把握を進め、必要な手立てを検討してきた。 ・放課後学習会をテスト前に実施するなど、参加しやすい体制を整えた。	A	A
	④豊かな心と思いやりを育てる道徳教育の実践	A	・生徒の声を反映した学校行事を実現させ、自己有用感の向上と思いやりの心の育成に努めた。	A	A
生徒指導	①共通理解・共通行動を基本とした指導体制の確立	A	・全教職員による組織的な指導体制を構築し、様々な問題に対応してきた。	A	A
	②基本的生活習慣の定着を図るための地域・保護者との連携	A	・学年学級懇談や教育相談で、生徒の実態交流や学校からの説明は有効だった。	A	A
	③生徒理解に基づいた教育相談の充実と関係機関との連携	A	・学校に相談しやすい雰囲気ができるよう生徒、保護者との信頼関係の構築に努めた。内容によって、SCやSSWへの接続を進めることができた。	A	A
	④学校におけるいじめの対処方針や指導計画など、迅速に対応する体制の整備	A	・校内いじめ不登校対策委員会を中心に、問題事案に対して組織的に解決策や未然防止の取組を検討してきた。	A	A
	⑤不登校生徒の減少に向けての取組	A	・ゆっくり教室への登校や市適応指導教室など、学校とのつながりを切ら	A	A

			さないようにしている。 ・新たな不登校が増えないよう、生徒一人ひとりの安心できる居場所づくりを目指す。		
小 中 一 貫 教 育	①9年間の目指す子ども像・課題の共有と、系統性のある教育課程の実践	A	・第一中校区と第三中校区の連携が進み、目指す子ども像や課題の共有ができた。小中合同挨拶運動が定着している。	A	A
	②学力向上・学習習慣確立を目指す小中一体となった取組の充実	A	・小中で共通して取り組む重点領域を決め、その交流を進めた。	A	A
そ の 他	①今日的課題に対する指導	B	・障がい種による学級増（全盲生徒や車いす生徒の増加）への準備	A	A
<p>【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】</p> <p>・達成状況や改善の方策について、委員からの質問や意見交流後、すべて妥当な評価といただいた</p> <p>・次年度の学校経営方針（グランドデザイン）を説明し承認をいただいた</p>					

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない